



HEIWA PAPER



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 平和紙業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9929 URL https://www.heiwapaper.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括本部副本部長 (氏名) 和田 学 TEL 03-3206-8501  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,915	0.5	113	42.1	174	33.3	102	△87.5
2023年3月期第3四半期	11,851	3.0	79	△31.9	130	17.7	818	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 533百万円 (△38.2%) 2023年3月期第3四半期 863百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	10.82	-
2023年3月期第3四半期	85.14	-

2023年3月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「-」と記載しています。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,310	9,829	53.7
2023年3月期	17,565	9,409	53.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,829百万円 2023年3月期 9,409百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	5.00	-	6.00	11.00
2024年3月期	-	6.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	5.8	122	△11.8	196	2.0	137	△84.3	14.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,116,917株	2023年3月期	10,116,917株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	657,395株	2023年3月期	657,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,459,522株	2023年3月期3Q	9,611,411株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が一段と進み、物価上昇による消費者マインドの弱含みはあるものの、インバウンド需要や国内観光需要が回復する等、景気は緩やかに持ち直しています。しかしながら、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化に伴う原燃料価格の高止まり、海外経済の下振れ等のリスクは続いており、景気の先行きは不透明な状況にあります。

紙パルプ業界におきましては、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や原燃料高騰に伴う価格改定による需要の冷え込みは依然として続いており、紙・板紙での国内出荷量（日本製紙連合会発表値）は、前年同四半期実績を下回りました。

このような中で当社グループは、事業の高付加価値化と需要伸長分野の深耕を目指して、主力である高付加価値特殊紙の販売強化、インバウンドやリオープン消費、イベント事業の需要が見込める高級パッケージや高級印刷紙、各種機能紙分野への注力、新規需要、新規顧客の獲得を推進しました。製紙メーカーの事業再構築に伴う抄造設備の停機等による商品再構築局面での商品の高付加価値化も進行し、顧客満足度向上と収益性の改善を図っています。また、脱炭素、脱プラスチック、SDGs等の社会ニーズに応える商材の開発や提案を進め、展示会、SNS等の継続的な情報発信による新規顧客及び新規需要の獲得を強化しています。原燃料の高騰による価格改定に伴う需要減退の影響を受け、販売数量は前年同四半期実績を下回りましたが、販売単価の上昇もあり、売上高は前年同四半期実績を上回りました。

なお、前第3四半期連結累計期間に固定資産売却益11億33百万円を計上しており、前年同四半期実績との比較では、親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高119億15百万円（前年同四半期比0.5%増）、経常利益1億74百万円（前年同四半期比33.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2百万円（前年同四半期比87.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去前となっております。

#### <和洋紙卸売業>

和洋紙卸売業は、構造的な情報伝達媒体のデジタルシフト、価格改定による需要減退の影響が大きく、販売数量は減少しました。しかしながら、販売単価の上昇と経済活動の正常化による観光イベント事業等の国内需要の緩やかな回復が続いたことから、ファインボードと高級印刷紙の販売が堅調に推移し、売上高は123億75百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は99百万円（前年同四半期比45.2%増）となりました。

#### <不動産賃貸業>

不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、概ね前年同四半期と同水準で、売上高は14百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は11百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

(参考)

当社単体の和洋紙卸売業の営業成績

品目別	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	2,600	23.4	2,551	22.9	△1.9
ファインボード	1,372	12.4	1,494	13.4	8.9
高級印刷紙	2,551	23.0	2,621	23.5	2.7
ベーシックペーパー	2,978	26.8	2,928	26.2	△1.7
技術紙	1,438	13.0	1,413	12.7	△1.7
その他	162	1.4	147	1.3	△8.9
合計	11,104	100.0	11,157	100.0	0.5

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、コロナ禍の影響が縮減し、書籍装丁用途や紙製品用途、東アジア向けの輸出が堅調に推移しましたが、商業印刷物や紙袋用途が減少し、売上高は25億51百万円、前年同四半期比1.9%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、各種観光イベント事業の再開に伴い、菓子食品・化粧品等の高級パッケージ向け販売が回復し、売上高は14億94百万円、前年同四半期比8.9%の増加となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、商業印刷物用途の販売が安定し、出版物や紙製品用途が増加したことで、売上高は26億21百万円、前年同四半期比2.7%の増加となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、書籍向けや医療品・化粧品パッケージ用途が堅調に推移しましたが、商業印刷物及び紙製品用途、東アジア向け輸出の販売が減少し、売上高は29億28百万円、前年同四半期比1.7%の減少となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、各種工業品製造用工程紙や耐水撥水性機能紙、合成紙の販売が堅調に推移しましたが、偽造防止用途の販売が減少し、売上高は14億13百万円、前年同四半期比1.7%の減少となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、ペーパータオル、製紙関連資材及び紙加工品の販売が減少し、売上高は1億47百万円、前年同四半期比8.9%の減少となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて7億45百万円増加して、183億10百万円となりました。主な要因は、現金及び預金4億27百万円が減少したものの、受取手形及び売掛金1億44百万円、電子記録債権4億84百万円、投資有価証券5億58百万円が増加したことによるものであります。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて3億25百万円増加して、84億81百万円となりました。主な要因は、短期借入金1億67百万円、未払法人税等1億33百万円、賞与引当金61百万円が減少したものの、支払手形及び買掛金5億16百万円、繰延税金負債2億11百万円が増加したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億19百万円増加して、98億29百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金3億95百万円が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2024年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上高	17,000百万円	(前期比	5.8%増収)
営業利益	122百万円	(同	11.8%減益)
経常利益	196百万円	(同	2.0%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	137百万円	(同	84.3%減益)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,072,938	2,645,917
受取手形及び売掛金	3,831,468	3,975,714
電子記録債権	1,491,553	1,976,541
商品	3,962,048	3,997,512
貯蔵品	49,557	50,425
その他	88,562	125,789
貸倒引当金	△18,351	△20,519
流動資産合計	12,477,775	12,751,381
固定資産		
有形固定資産	1,953,389	1,922,683
無形固定資産	40,044	39,962
投資その他の資産		
投資有価証券	2,438,886	2,996,935
長期預金	300,000	300,000
その他	357,056	302,481
貸倒引当金	△1,959	△2,897
投資その他の資産合計	3,093,983	3,596,519
固定資産合計	5,087,417	5,559,164
資産合計	17,565,193	18,310,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,623,140	5,139,822
短期借入金	2,371,471	2,204,276
未払法人税等	134,453	1,355
賞与引当金	136,100	74,334
その他	277,427	241,826
流動負債合計	7,542,594	7,661,614
固定負債		
退職給付に係る負債	255,220	253,145
資産除去債務	70,451	71,356
繰延税金負債	234,169	445,626
その他	53,029	49,370
固定負債合計	612,870	819,498
負債合計	8,155,465	8,481,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	4,605,132	4,593,991
自己株式	△293,972	△293,972
株主資本合計	8,750,391	8,739,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555,612	951,601
為替換算調整勘定	103,723	138,581
その他の包括利益累計額合計	659,336	1,090,182
純資産合計	9,409,728	9,829,433
負債純資産合計	17,565,193	18,310,546



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	11,851,374	11,915,948
売上原価	9,489,579	9,451,932
売上総利益	2,361,795	2,464,015
販売費及び一般管理費	2,281,894	2,350,451
営業利益	79,900	113,563
営業外収益		
受取利息	4,098	3,948
受取配当金	69,787	67,389
助成金収入	17,727	—
その他	6,061	11,388
営業外収益合計	97,675	82,726
営業外費用		
支払利息	9,497	16,039
為替差損	1,563	877
売上割引	2,627	2,809
休業手当	32,055	—
その他	1,150	2,304
営業外費用合計	46,894	22,031
経常利益	130,681	174,258
特別利益		
固定資産売却益	1,133,083	—
特別利益合計	1,133,083	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,687	164
投資有価証券評価損	43,211	—
特別損失合計	44,899	164
税金等調整前四半期純利益	1,218,865	174,094
法人税、住民税及び事業税	118,199	24,590
法人税等調整額	282,259	47,130
法人税等合計	400,459	71,721
四半期純利益	818,406	102,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	818,406	102,373

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	818,406	102,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△995	395,988
為替換算調整勘定	45,929	34,857
その他の包括利益合計	44,933	430,846
四半期包括利益	863,339	533,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	863,339	533,219

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,843,664	—	11,843,664	—	11,843,664
その他の収益	—	7,710	7,710	—	7,710
外部顧客への売上高	11,843,664	7,710	11,851,374	—	11,851,374
セグメント間の内部売上高又は振替高	467,713	6,407	474,121	△474,121	—
計	12,311,377	14,117	12,325,495	△474,121	11,851,374
セグメント利益	68,844	11,278	80,123	△222	79,900

(注) 1. セグメント利益の調整額△222千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,907,910	—	11,907,910	—	11,907,910
その他の収益	—	8,038	8,038	—	8,038
外部顧客への売上高	11,907,910	8,038	11,915,948	—	11,915,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	467,792	6,407	474,200	△474,200	—
計	12,375,702	14,445	12,390,148	△474,200	11,915,948
セグメント利益	99,997	11,595	111,592	1,970	113,563

(注) 1. セグメント利益の調整額1,970千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。